



9月号 2021-2022  
No. 531

# 西条

第61代会長スローガン 「 伝承 そして新たなる時代へ 」

キーワード 「 挑戦 」



クラブ結成 60 周年記念事業「わたしの夢」作文コンテスト表彰式



ライオンズクラブ国際協会 336-A地区  
2R4Z 西条ライオンズクラブ 広報誌

2021-2022 ライオンズクラブ国際協会会長

ダグラス M・アレキサンダー

テーマ 「 We Serve (我々は奉仕する)」

メッセージ 「 心からの奉仕を 」 *Service from the Heart*



2021-2022 ライオンズクラブ国際協会 336-A地区ガバナー

蔵本守雄

スローガン 「 命燃やして恋せよライオンズに 」

キーワード 「 Overcome 」



2021-2022 ライオンズクラブ第 61 代会長

曾我部克正

結成60周年記念大会 2022年4月3日(日)

大会テーマ 「 未来への提言 」

記念ゴルフ大会 2022年3月27日(日)



【クラブ結成 60 周年記念事業】

わたしの夢 作文コンテスト

2020年の春からいつ終わるとも分からないコロナ禍のため、年齢を問わず生活の制限が続き、明るい展望が持ちづらい世情となっております。そのような中、次代を担う世代に輝く未来への希望を持ち続けてほしいとの思いで、市内の中学生を対象に「私の夢」というテーマで作文を募集しました。総数 397 作品の応募があり、西条ライオンズクラブ会員全員で拝読させていただきました。どの作品も素晴らしい文章で、それぞれの夢を頼もしく、明るい未来を感じさせてもらえる作品が多数ありました。その中で、特に感銘を受けた作品を優秀作品とし文集を作成いたしました。

西条ライオンズクラブ結成 60 周年記念事業委員会



市内4中学校での表彰式には、曾我部会長、明比 60 年大会委員長、村瀬 60 周年記念事業委員長が出席し、入賞の生徒さん11名へ表彰状並びに副賞をお渡ししました。また、協力いただいた各中学校へ教育に役立ててもらえるようにと図書券を贈呈しました。



## 4ZCA 日野克則

2020年度は8つのクラブが新しくできて、66のクラブが解散したそうです。

役割として、GLT・GMT は第一副会長・第二副会長が務めると必携に書いてあるそうです。

会員拡大が大切と考えており、特に女性会員も増強をお願いしたいとのキャビネットからの要望がありました。その手段として賛助会員を25%までとしているクラブが 25%以上でも OK にして会員拡大したクラブ、クラブ会費を安くして会員増強したクラブなどを参考例に挙げていました。他にもクラブメンバーの会費を変えて65歳以上は10万円の会費、65歳以下は3万円に抑えるが奉仕作業へは積極的に参加する事として会費の安さ感で拡大したクラブ。また、第1例会へは夜間例会とし 5,000 円を持参して参加、第2例会を昼開催とし、3,000 円の会費に変え例会に参加等、会員拡大するために色々な工夫やチャレンジをして東京のあるクラブが 100 人の会員目標を3年で達成した事例もあるそうです。

また、今期は「プラスチックゴミ」を減らす事業をして欲しい、海岸のゴミ清掃やペットボトルの回収事業等は自分たちクラブだけではないのではなく、自治会、PTA、学校を巻き込んだ活動の要請がありました。YCE 事業は既に全国で中止が決まっており、コロナ感染症の拡大の影響が今期も大きくありそうです。

第68回地区年次大会は今の段階では4月23日(土)、24日(日)の日程で 2,000 名の大会登録規模を予定し、開催準備を進めています。

この愛媛県下も公式訪問会議開催の時は、第五波で急速に感染が広がっていた状況で、本当に開催できるのか心配もありましたが、感染対策を十分にした上での開催であったお陰で終了後の現在も、関係先も皆事なきを得たようでホッとしたというのが本音であります。

以上、出席報告でした。



シリーズ  
伊予西條遺産

前期、会報誌掲載シリーズ「伊予西条遺産」は郷土歴史に詳しい万条克己先生にご教授いただき、今期も引き続き我が町の歴史を委員会メンバーで勉強し、クラブ会報誌に遺していきます。今後の西条遺産掲載予定をお知らせします。お楽しみに（^^♪

伊予西條遺産 今後掲載予定題材 ～第二次 西条藩(松平家時代・定府/寛文 10 年(1670 年)～慶応3年(1867 年)

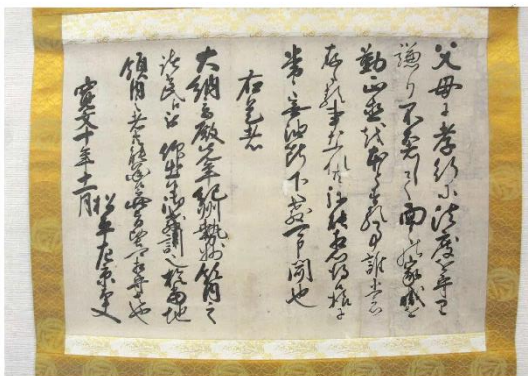
9月	(初代)松平頼純公「5度の入府」と「狩り」「父母状」1670 年	2月	(9代)松平頼学公「106 年振りのお国入り」1835 年
10月	(2代)松平頼政公「紀州6第藩主 徳川宗直」1716 年	3月	(9代)松平頼学公「西條誌(儒学者・日野和照)」1842 年
11月	(3代)松平頼渡公「享保の大飢饉に対応した西条藩」 「荒瀬弥五左衛門」1732 年	4月	(10代)松平頼英公「西条藩最後の殿様」
		5月	善通寺五重塔の芯柱を横峰寺領より切り出す
12月	(6代)松平頼謙公「禎瑞新田の開墾と竹内立左衛門」1775 年	6月	陣屋門について(妙昌寺と林昌寺)
1月	(8代)松平頼啓公「擇善堂(三品容齋)」1805 年	7月	城下町に於ける賭博や刑罰「市場の繁栄と札ノ辻(高札)」

～ テーマ ～  
初代伊予西条藩主 松平頼純  
～5度の入府と「狩り」・「父母状」～

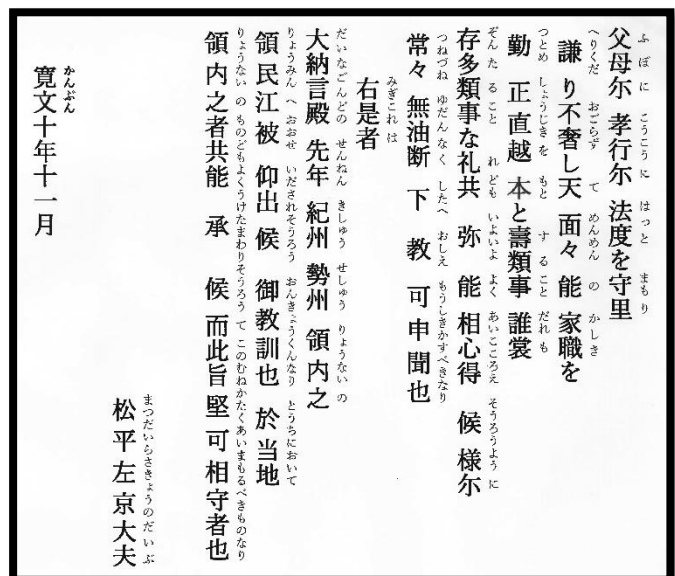
美濃国(今の岐阜県)の武将、一柳直高の次男 一柳直盛が 1636 年より伊予西条藩の基礎を築いてから(第一次西条藩)一柳直興まで3代約 30 年に渡り

続いた一柳家が、1665 年に改易となり以後、松平家(徳川御三家・紀州徳川分家の松平頼純が奉ぜられてから 10 代約 200 年(第二次西条藩)の間、伊予西条藩は延々と続くのである。その初代藩主松平頼純は、徳川家康の妻子、頼宣の三男として江戸は麴町、紀州家上屋敷にて出生、幼名を小松丸と云い、承応 3 年松平左京大夫と改め、実名を頼純と名乗る。そして寛文 10 年(1670 年)伊予西条三万石の藩主となるのである。

頼純は家康の孫にあたり、兄は徳川光貞、8 代將軍吉宗の叔父、徳川家光や徳川光圀の従弟にあたるので特別優遇され、従って参勤交代もなく、ほとんどが江戸づめで、入部(お国入り)は、10 代 200 年の治世の間に、僅か 5 人で 10 回しかなかった。頼純は歴代藩主の中でも入部が一番多く、寛文 10 年、元禄 7 年、11 年、15 年、寛永 5 年の 5 回である。西条松平藩三万石の土台を築くべく、政治の根本は宗家紀州家に倣い藩政を改めた。頼純は領内の民政を行うにあたり、教訓としたものは、「父母状」と呼ばれるものであった。つまり「父母に孝行して、法度を守り、へりくだっておごらず、面々の家職をつとめ、正直を本とする。」という様な内容である。



父母状



そして入部の毎に狩りを実施している、「西条誌」などの後の記述によると、坂元村にあった「吉祥寺の藪」に集まる毛族を大池や川に追いおとし、「西の丸」や「東のお立場」を設けて、猪や鹿狩りの様子を見学したとある。又、治政中の元禄 4 年に別子銅山が大坂住友家に依って開かれたり、宝永元年には、多喜浜塩田の開発にも着手している。こうして松平氏 200 年の治政の基礎がためが出来上がった。かくして、初代藩主としての業績は後世まで語りつがれ、享年 71 才にて病没までの治世は 42 年にも及んだのである。



コロナ禍の中、ライオンズの行事を中止せざるを得ない状況を受け、本会報誌の充実を図っていくため、ライオンズ OB をお願いしたところ、西条ライオンズクラブ第30代会長篠原秀幸先生に快く寄稿いただきました。篠原先生、ありがとうございました。

## 終戦の頃を思っ

元会員 クラブ第30代会長 篠原秀幸

今年も8月15日終戦の日が来る。黙祷の間に色々当時のことが走馬灯のように脳裏をよぎる。卒寿を過ぎ、だんだん記憶が薄らぐ年になった。同時に、戦争を経験した人は極く少なくなったので、当時のことを語りべ的に書いておきたい。当時私は熊本幼年学校の臨海訓練で雲仙を望む三隈半島に居た。幼年学校へは高松中学2年から入学した。陸軍幹部将校を養成する学校で日本全国に仙台、名古屋、東京、大阪、広島、そして熊本の6校があった。将校生徒のプライドは高かったが年齢的には今の中学生であり初めて親元を離れた寂しさに、消灯ラッパが哀愁を込めて(新兵さんは可哀そうね、また寝て泣くのかね)などと聞こえるとあちこちの寝台からすすり泣く声が聞こえた。校内の小高い遥拝台があり、起床洗面正装にて各自郷里方面に朝の挨拶と無事を祈って敬礼一日が始まる。当時は中学校では農繁期には農業奉仕、大抵は高松飛行場建設で授業などはなかった。一方、私たちは午前中授業午後は柔剣道や訓練があり就寝まで復習など自由時間があつた。このころ外国語でドイツ語の基礎を学んだのが後の旧制高校 大学そして医師への道に進んだ原動力になったと思う。医学部ではまだドイツ語が主であった。夜は灯火管制下本土空襲に向かうB29の不気味な爆音を聞き、長崎原爆の白雲を見たり熊本空襲を目の当たりにしたりして戦局の厳しさを感じた。遊泳訓練中も敵艦載機が時々飛来し低空では乗員の笑い顔まで見えた。終戦の詔勅はガラガラ光る浜辺にふんどし一つで整列して聞いた。少し前に広島に新型爆弾が落ちたとの報道が流れていたのもう限界と思っていたのか涙も出ず茫然としていた。学校に帰っての明るい電灯が、煌々と点いて戦争も終わったと実感した。残務整理も終わり廃校式の日が来た。鎮魂のラッパのなか校舎正面の菊の御紋章が取り外された。それから帰郷までの日々、これからの生き方を語り合ったものだ。3年生の最上級生の引率のもと、各地に散って行った。四国へは偶然、後に同じ西条で会うことになるのだがワラレに勤められた藤川さんが隊長として指揮を執られた。超満員の復員列車だった。広島を通り連絡船で高松に着いて驚いた。一面焼け野が原で栗林公園まで見渡せ、ところどころに煙が上がっていた。あれから76年の歳月が流れた。今コロナが蔓延し、ある意味では再び我々日本にあの先の大戦のような試練が襲ってきた。是非が拳がっていたオリンピック、パラリンピックも感動の連続の中に無観客とはいえ行われた。ワクチンのみが頼り、デルタ株など新型ウイルスで自宅療法を余儀なくされ医療崩壊が現実になろうとしている。先日、保育園通いの2歳の曾孫の姿がラインで送られてきた。園庭で遊ぶにもマスクをつけ異常な気がした。オンラインでの診療や、リモートでのデスクワーク、人流を防ぐための会合、会食の制限、外出制限等々日本社会はどうなるのか？先日ライオンズクラブの越智さんがおいでになり、昔話にお茶も出さず、近況など語り合った。私は西条ライオンズクラブ十周年より在籍し、医師会では加藤、内田、和田、の諸先生が居られた。私は三十周年には会長として国際交流をテーマにインド、スリランカ、ハワイそしてニューヨークホストライオンズクラブなどのクラブと姉妹提携し、彼我の会員交流や姉妹提携など思い出すと、心の底から熱いものがよみがえってきます。

ライオンズクラブの皆さんのご活動には心から感謝しています。



## 西条ライオンズクラブ 会員募集中!

We Serve

### ◎ライオンズクラブとは

世界最大の社会奉仕団体のことです。  
世界で約 200 以上の国または領域にあり  
49,000 を超えるクラブが存在し、140 万人以上の  
会員がいます。あなたも世界の一員になりませんか。

### ◎西条ライオンズクラブは

国内で 334 番目、愛媛県下では 9 番目のクラブとして  
結成されました。「We Serve～我々は奉仕する～」を  
合言葉におなじ志をもつ仲間同士が集まって奉仕活動  
を行っています。

人の為に、社会の為に、一人ではできないことを、出  
会いを通して集まった会員が力を合わせて、それぞれの  
地域において社会奉仕に貢献していこうという団体で  
す。



市内清掃奉仕活動

## 編集後記



暦の上では立秋を過ぎましたが、このところ長雨つづきのむし暑い毎日です。  
昨今の地球温暖化のせいで、世界各国で異常気象による災害が多発している

現状です。万条教室主催のシリーズ伊予西条遺産が好評に付、今期もスタートしました。

今回より歴代の伊予西条藩主を中心にすすめてまいりますので、ご期待ください。

さて、選手たちの頑張る姿に拍手を贈りつつ、他方ではコロナ感染拡大に心を痛めるという、正に背中合わせの五輪でした。華やかな閉会式で幕を降ろしましたが、もう一方は一体いつになったら終息のきざしを見せるのでしょうか。連日の感染者数の報道を見るにつけ、まるで他人の様な言動など、いわゆるコロナ慣れを感じます。各人もっと危機感を持って今の状況を真摯に受け止めてほしいものです。

宇宙から地球を見れば人類は  
集まることが好きな生き物

依 万智(2021.夏を詠む)より

MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員・越智英明



## ほのぼのシリーズ



わたしのすきなもの

No. 31 小野雅志

### ■ 好きな食べもの

季節の旬な食べもの 春 タラの芽(天ぷら)  
夏 とうきび(焼き)  
秋 栗(栗ご飯)  
冬 カキ(カキフライ)



### ■ 好きな車

トヨタ カリーナ(一番最初に買った車だから)

### ■ 好きな場所 山(桑瀬峠) ↓



### ■ 好きな音楽 風

### ■ 最近、感動したこと

やっぱりオリンピック(特に柔道!)



発行者 会長 曾我部克正  
幹事 植木光夫

[MC・地区誌編集委員会]

委員長/副委員長 高田潤一/二瓶大介  
編集委員 越智英明・村上公明・寺川治美  
盛實正人・小野雅志

例会日 毎月 第1・第3火曜日(12:30~13:30)  
例会場 西条商工会館  
発行 西条ライオンズクラブ事務局  
印刷 プリントワールド ONO

## 西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8  
西条商工会館3F

TEL(0897)56-3980

FAX(0897)56-9251

E-mail saijo-1c@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ http://saijo-lions.jp

facebook http://facebook.com/saijo.lions/